



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社名村造船所 上場取引所 東  
コード番号 7014 URL <https://www.namura.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名村 建介  
問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員経營業務本部長 (氏名) 向 周 TEL 06-6543-3561  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	39,760	33.4	8,614	199.8	9,792	83.9	9,694	119.6
2024年3月期第1四半期	29,813	△17.5	2,874	△63.2	5,324	△44.8	4,415	△53.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 11,977百万円(83.4%) 2024年3月期第1四半期 6,530百万円(△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	139.79	138.65
2024年3月期第1四半期	63.73	63.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	192,067	90,829	47.0
2024年3月期	174,791	79,899	45.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 90,317百万円 2024年3月期 79,418百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	9.6	18,000	9.1	18,000	△10.0	15,000	△24.8	216.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	69,385,551株	2024年3月期	69,345,051株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,036株	2024年3月期	9,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	69,346,129株	2024年3月期1Q	69,277,460株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する説明

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	29,813	39,760	9,947	33.4%
営業利益	2,874	8,614	5,740	199.8%
経常利益	5,324	9,792	4,468	83.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,415	9,694	5,279	119.6%

当第1四半期連結累計期間の業績は、想定以上の円安が続いたことに加えて、従来大型船主体の建造から、船価改善が比較的早く原価に占める鋼材費率が低い船型の大量連続建造に方針転換したことにより、当初に想定した以上に増収増益効果が大きく、売上高は39,760百万円、営業利益は8,614百万円、経常利益は円安による為替差益(618百万円)を含め9,792百万円、税金等調整前四半期純利益は9,792百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,694百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	差額
期末レート(第1四半期連結会計期間末)(注1)	144.99円/US\$	161.07円/US\$	16.08円 円安
売上高平均レート(第1四半期連結累計期間)(注2)	140.09円/US\$	155.47円/US\$	15.38円 円安

(注1)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第1四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

(注2)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

## ＜セグメント別概況＞

(単位：百万円)

	売上高				営業利益(△は損失)			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	22,206	32,208	10,002	45.0%	2,819	8,369	5,550	196.9%
修繕船	4,126	4,528	402	9.7%	491	656	165	33.5%
鉄構・機械	1,822	1,044	△778	△42.7%	93	△49	△142	—
その他	1,659	1,980	321	19.3%	33	202	169	512.9%
計	29,813	39,760	9,947	33.4%	3,436	9,178	5,742	167.1%
消去又は全社	—	—	—	—	△562	△564	△2	—
連結	29,813	39,760	9,947	33.4%	2,874	8,614	5,740	199.8%

## 〈新造船事業〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は32,208百万円(前年同期比45.0%増)、営業利益は8,369百万円(前年同期比196.9%増)となりました。鋼材価格の高止まりやインフレ等による材料費の高騰と人件費上昇の影響は大きかったものの、円安の進行や建造船価の改善に加え、グループ戦略商品の連続建造と操業量の拡大による原価削減効果により、前年同期比で大幅な増収・増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、地球環境に配慮したLPG燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船(VLGC)1隻など計8隻を完工し、VLGC2隻や大型撒積運搬船など計9隻を受注した結果、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は359,022百万円(前年同期比42.8%増)となりました。

## 〈修繕船事業〉

佐世保重工業株式会社と函館どつく株式会社が担う修繕船事業においては、主力の国内艦艇や巡視船のほか、調査船や一般商船などの工事も順調に進捗し、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,528百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は656百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

国内艦艇の定検工事を中心に受注を積み上げ、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は13,304百万円(前年同期比119.4%増)となりました。

## 〈鉄構・機械事業〉

船用機械部門における事業環境には改善が見られますが、鉄構橋梁部門においては受注競争の激化に伴い、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,044百万円(前年同期比42.7%減)、営業損失は49百万円(前年同期は93百万円の営業利益)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は6,630百万円(前年同期比33.0%減)となりました。

## 〈その他事業〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,980百万円(前年同期比19.3%増)、営業利益は202百万円(前年同期比512.9%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は、2,050百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)	増減
総資産	174,791	192,067	17,276
負債 (内有利子負債)	94,892 (12,760)	101,238 (13,046)	6,346 (286)
純資産	79,899	90,829	10,930
自己資本比率	45.4%	47.0%	1.6ポイント
有利子負債比率	16.1%	14.4%	△1.7ポイント

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、収益の改善や新造船の受注増、建造期間短縮による受取手形、売掛金及び契約資産の早期回収等により現金及び預金が大幅に増加し、保有している投資有価証券の時価上昇の影響もあって、前連結会計年度末に比べて17,276百万円増の192,067百万円となりました。

負債は、新造船受注増による契約負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて6,346百万円増加し、101,238百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を9,694百万円計上し、前連結会計年度末に比べて10,930百万円増加して90,829百万円となり、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.6ポイント増の47.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期(第126期)の通期の連結業績予想および配当予想につきましては、現時点においては2024年5月14日に公表いたしました数値を据え置いております。

2024年5月14日に公表しております第126期通期予想値の進捗率は次のとおり高水準であります。今後9か月間には為替を始めとする不確定要素が多く、第2四半期決算において公表値見直しの必要性を検討いたします。

	当第1四半期 連結累計期間 百万円	公表済 通期予算値 百万円	進捗率 %
売上高	39,760	148,000	26.9
営業利益	8,614	18,000	47.9
経常利益	9,792	18,000	54.4
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	9,694	15,000	64.6

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,386	74,064
受取手形、売掛金及び契約資産	45,827	37,045
商品及び製品	95	82
仕掛品	3,169	4,077
原材料及び貯蔵品	1,642	1,627
その他	4,074	6,922
流動資産合計	110,193	123,817
固定資産		
有形固定資産	30,930	31,040
無形固定資産	357	373
投資その他の資産		
投資有価証券	31,531	34,801
その他	1,780	2,036
投資その他の資産合計	33,311	36,837
固定資産合計	64,598	68,250
資産合計	174,791	192,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,464	15,922
電子記録債務	7,533	6,884
短期借入金	3,505	3,970
未払法人税等	2,681	1,152
契約負債	33,402	42,683
工事損失引当金	152	155
保証工事引当金	698	550
その他の引当金	74	30
その他	6,462	6,832
流動負債合計	71,971	78,178
固定負債		
長期借入金	9,255	9,076
その他の引当金	244	252
退職給付に係る負債	5,656	5,730
その他	7,766	8,002
固定負債合計	22,921	23,060
負債合計	94,892	101,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,189	8,200
資本剰余金	26,956	26,966
利益剰余金	25,282	33,935
自己株式	△5	△5
株主資本合計	60,422	69,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,899	20,089
繰延ヘッジ損益	57	119
為替換算調整勘定	952	972
退職給付に係る調整累計額	88	41
その他の包括利益累計額合計	18,996	21,221
新株予約権	266	245
非支配株主持分	215	267
純資産合計	79,899	90,829
負債純資産合計	174,791	192,067

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	29,813	39,760
売上原価	25,406	29,654
売上総利益	4,407	10,106
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	541	580
その他	992	912
販売費及び一般管理費合計	1,533	1,492
営業利益	2,874	8,614
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	903	558
為替差益	1,610	618
持分法による投資利益	13	17
その他	10	88
営業外収益合計	2,549	1,289
営業外費用		
支払利息	76	47
その他	23	64
営業外費用合計	99	111
経常利益	5,324	9,792
税金等調整前四半期純利益	5,324	9,792
法人税、住民税及び事業税	920	1,105
法人税等調整額	△11	△1,065
法人税等合計	909	40
四半期純利益	4,415	9,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,415	9,694

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	4,415	9,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,980	2,189
繰延ヘッジ損益	△22	62
為替換算調整勘定	172	20
退職給付に係る調整額	△15	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	2,115	2,225
四半期包括利益	6,530	11,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,530	11,919
非支配株主に係る四半期包括利益	—	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	22,206	4,126	1,822	1,659	29,813	—	29,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	146	146	△146	—
計	22,206	4,126	1,822	1,805	29,959	△146	29,813
セグメント利益	2,819	491	93	33	3,436	△562	2,874

(注) 1 セグメント利益の調整額△562百万円には、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△560百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	32,208	4,528	1,044	1,980	39,760	—	39,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	122	122	△122	—
計	32,208	4,528	1,044	2,102	39,882	△122	39,760
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,369	656	△49	202	9,178	△564	8,614

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△564百万円には、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	940百万円	811百万円